

6月の言葉『早々に』

5月の言葉はギリギリの月末のアップだったので、6月の言葉は早々と月初にアップすることにしました。

2016年も折り返しの月になりました。

震災もあれば、不倫スキャンダルもあれば、覚せい剤スキャンダル、政治資金スキャンダルとこれでもかと次から次からやってきます。

いろんな意味で社会自体が疲れてるだろうなあと感じます。

自殺者は減ったものの行方不明者は増大。

景気回復、雇用拡大したとはいえ生活保護は増加。

SNSなど個人の情報発信は飛躍的に増えたと同時に誹謗中傷、独善的・偏見の見解も増加。

秩序の欠落・崩壊、カオス状態です。

拙著「ワーク・コントロール」でも述べましたが、まさしく歴史、時代の分水嶺にいるようです。社会が右に行くか左に行くかの流れがはっきりしないので私たち個人は右往左往することになっているようです。

そんな時こそ自律的に行動したいものです。自律的な行動のキーワードは『早々に』開始すること、はじめることだとタイムマネジメントのコンサルタントとしては痛感します。

なぜならギリギリの締め切りは他人の影響を強く受けますが、早々の着手は取り組む勇気を各自が持つだけで可能です。

欧米人に比較し日本人はこの自律的に動くことが苦手のようにです。流れが決まってからは一気呵成に組織的に力を発揮するところは日本人の強みですが、流される、主体性の欠如と裏腹なので弱みとも言えます。

その意味ではアドラー心理学の神髄は「嫌われることの勇氣」ではなく「はじめることの勇氣」「決着をつけることの勇氣」だと思えてきます。日本人の弱点が気になる人たちを中心にアドラー心理学がひそかなブームになっているように感じます。

日本タイムマネジメント普及協会

理事 行本 明説（逆から音読みするとセツメイホンギョウ）

2016年6月1日